



Kimura Eye &amp; Int Med Hospital

# ひかりいっぱい新聞

**地域医療連携室はじめました!**

地域医療連携室 室長 青木 弘美

**宮崎医師がナイチンゲール賞(知事表彰)を受賞****スローガンを一新!****次の100年に向けて病院の新理念を制定**

理事長 木村 友剛

地域医療連携室  
主事 岡田 佐由里地域医療連携室  
室長 青木 弘美

木村眼科内科病院も110周年を迎え、これからもずっと地域に深く根づいた眼科専門病院でありたいと願っております。そこでこの度、患者様の利便性を図り、地元の病医院とより親密な協力体制を目指す「地域医療連携室」を立ち上げました。

従来それぞれの病院で独自の検査・診断・治療がなされておりますが、壁を越えてデータなどの情報の共有ができれば重複する検査はなくなり、貴重な情報が相互に利用でき、的確な診断に早く辿りつけるはずです。また、専門医や他科に相談したい、至急診察を依頼したいなど、お困りの状況も日々発生していることと思います。地域医療連携室では、そんな他の病医院との折衝の窓口を一本化し、紹介へのスムーズな段取りと相互の調整を図りたいと考えています。

地域医療連携室の業務内容は、まず近隣の病医院から当院へ患者さんを紹介される際に、直接電話を受けます。疾患名(症状)と緊急性を考え、医師の専門に合わせてできるだけご希望日に予約をおとりします。病医院よりFAXで情報を受けておくことで、事前にカルテも作成でき、初診でもスムーズに受診できます。

緊急の場合には医師、手術室、外来、病棟にすみやかに連絡し、早急に来院していただき、即日入院や緊急手術となる場合もあります。

紹介状・返書などは連携室で医師の援助を行いきただけ早く対応できるように心がけています。紹介などの情報は一括管理することで今後に活用します。医師の診察日程や診療専門分野などの情報交換や広報活動は、リーフレットやホームページ、または病医院へ実際に訪問しています。

また、初めて受診したいという新規の患者様からの受診相談や予約受付なども対応しています。



例えば、先日も総合病院の小児科から電話で、6歳の男児が殴られて痛みと腫脹があるがどうしたらよいかと相談があり、すぐに受診してもらい緊急で対応しました。病棟や手術室には連絡をしておき、必要なら入院や手術の準備もしておきます。

地域医療連携室では、地域の病医院との窓口として、患者さんのお役に立てるようがんばっていきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室 室長 青木 弘美



## 宮崎医師がナイチンゲール賞(知事表彰)を受賞



第27回ひろしまナイチンゲール賞(知事表彰)を、宮崎 峰生 麻酔科部長が受賞しました。5月14日の「看護の日」に広島県民文化センターにて表彰式が行われ、湯崎英彦広島県知事より表彰状が贈られました。宮崎医師は平成6年から25年以上、看護専門学校講師を務め、看護師の育成・看護の向上に尽力し、看護学校と実習医療機関との連携構築にも貢献してまいりました。式では長年にわたる看護教育への精励、地域の医療・保健・福祉の向上への取り組みが称えられました。

### 宮崎医師からのひと言

あらためて振り返りますと、呉共済病院と呉市医師会病院の看護学校、合わせると1,500人以上の学生の講義を担当してきた事になります。私は麻酔科なので、講義の内容は命を守るための知識、手技としました。開始当時はよい教科書や参考書もなく粗末なプリントだけでした。しかし予備知識のない看護師の卵に何とか理解をしてもらおうと頑張っている内に25年以上が経った気がします。中でも卒業後私と同じ職場で働きたいと就職してきた学生もいたことは一番の思い出で感慨深いものが有ります。微力ながら、呉の看護教育に尽力したことを認めていただいた事に感謝しております。



## スローガンを一新!

# 眼に心に ひかりをとどけて

これまでのスローガンは「眼の総合病院を目指して。」でしたが、創立110周年を機にスローガンを一新しようということで、理事長と企画委員会が中心となり、木村眼科内科病院の全職員から募集しました。各部署から18例を選考し、さらに理事長と企画委員会で投票、その結果、手術室のスローガンが最優秀賞に輝きました。

### 「新スローガン」に手術室スタッフが込めた思い

手術室では毎年3,000件以上の手術を行っております。その中で、私達は手術で使用する器械をはじめ、病院内で使う全てのメス・ピンセットなど繊細なものを点検し、洗浄・滅菌を担当しています。空中に漂いそうなくらい細い直径0.03~0.04mmの糸や非常に細かい手術器械もあり、場合によっては拡大鏡を使用して点検を行うこともあります。これらの作業は医療器械を介しての感染を起ささないようにするために大変重要で、緊張の連続のなか業務にあたっています。

今回、最優秀賞に選んで頂いた新スローガン「眼に心に ひかりをとどけて」には、「すべての患者様の眼に『ひかり』が戻り、眼も心も晴れやかになっていただきたい」という気持ちを込めました。

患者様とお会いする機会は少ないのですが、「縁の下の力持ち」を合言葉に、これからも日々頑張っまいります。



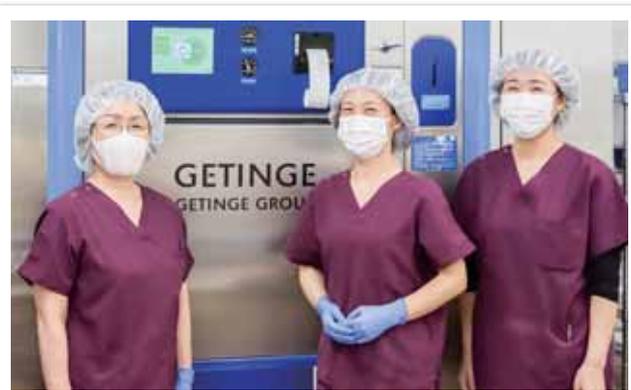
拡大鏡で滅菌前の器械の先端にキズなどないかをチェック



手術で使用する沢山の器械を専用の自動洗浄機へ並べているところ



手術終了直後に使用した器械の数などを確認



壁面いっぱいに据えられた大きな滅菌器の前で

# 次の100年に向けて病院の新理念を制定

開院110周年を機に、病院の理念、基本方針を新たに制定致しました。

患者様、病院職員、地域社会に対して、当院が開院して現在に至るまで、さらに今後も守っていききたい不偏の価値観、思いを明文化したものです。

これからも医療や社会環境は大きく変わっていくように思われますが、変化に対して入念に対応しつつ、皆様に期待される役割や責任を果たせるように、より良い病院を築いて参ります。

理事長 木村 友剛

理  
念

## 人々のくらしに、 ひかりある希望と喜びをもたらす

基本方針 ～私たちの誓い～

患者様へ

自分らしく、見える喜びに満ちた生活を生涯にわたって過ごせるように、最高の医療を行います。  
一人ひとりを大切に思い、快適な環境を整え、心安らぐ医療を受けられるようにします。

職員へ

病める人々へ希望の光を照らし続けるために深い知識をもち、技術を磨き、  
高い人間性を備えた医療人となるよう努めます。  
一人ひとりの志を尊重し、お互いに成長することを喜び、仲間を信頼し助け合える環境を創ります。

社会へ

地域に根差し、地域から愛され、地域より信頼される診療を行います。  
医療の進歩に寄与することで、世の中に貢献します。

医療法人社団ひかり会

**木村眼科内科病院**

〒737-0029 広島県呉市宝町3-15

TEL:0823-22-5544[代表]

0823-21-1000[病棟専用・夜間・休日]

FAX:0823-25-9010

医療法人社団ひかり会

**焼山木村眼科**

〒737-0935 広島県呉市焼山中央1丁目10-9

TEL:0823-33-8259

FAX:0823-33-8279

<http://www.kimura-eye.or.jp/>

木村眼科

検索 できます。